

学校だより
「まんだ」
No. 8

自他を大事にする子供 学び続ける子供 共に未来を切り拓く子供



認める力

やりぬく力

表現する力

前期後半スタート

子どもたちのにぎやかな声が戻ってきました。1か月見ないうちに、たくましくなったような、体つきもおっしくなったような気がします。

夏休み明け集会の後、久しぶりに各教室を回ってみると、「夏休みの思い出」を発表しているクラスがあります。女の子が「夏祭りに行きました。かき氷がおいしかったです。」といえば、男の子が「魚釣りに行きました。」と。それで、魚は釣れたの？と思いましたが、そこはスルー。ちょっとちょっと、そこは質問するところでしょ！と思ったところでした。子供たちはしゃべり足りない様子で、休み時間も担任の先生の周りに集まり、楽しかった思い出を話しています。きっと充実した夏休みを過ごしたのだらうと思いました。

さて、私は今日の「夏休み明け集会」の中で、次のような話をしました。

「玉名や天草を中心に県内各地で大雨による被害があったが、皆さんの家は大丈夫だったか？校長先生も、以前天草に勤務したことがあったので、心配になり天草に住む昔の知り合いに電話をした。被害があったとのこと。

そして、今年は戦後80年の節目の年。かつて日本も大きな戦争をした。この戦争で、日本はもちろん、世界中で多くの方が亡くなった。80年も昔の話だから、当然、校長先生も生まれていない。だから戦争の本当のところはわからないかもしれない。でも、だから想像しないといけない。親を亡くした子供はどんなに寂しく不安だっただろう。子供を亡くした親はどんなに悲しい地獄だっただろうかと。私たちは人間だから、相手の気持ちを想像する力を持っている。見えないものを見ようとする想像力。それが大事。

私たちの身の回りはどうか？豪雨で天草に被害が出たと聞けば、そこに暮らす人はどんなにつらいだろうか？とか、日照りの日が続けば、農家の人たちは困っていないだろうか？とか。皆さんは、友達の表情から相手の気持ちを推し量っているだろうか？「自他を大事にする」ために、相手に心を寄せて、相手の気持ちを想像することからはじめてほしい。きっといい学校になるだろう！」

保護者の皆様や地域の方々にとっては、子供たちの学校での様子は、子供の話を聞いたり、子供の表情から想像したりするしかないのですが、この学校だよりも、その想像力を支えるものになればと考えています。これからもどうぞよろしくお願いします。

奉仕作業、よろしくお願いします

夏休みの運動場。昨今は暑すぎて誰も使いません。おかげで、草が伸び放題伸びていて、校長としては恥ずかしい限りです。お盆明けから、用務員の先生にもお願いして、随分頑張ったつもりですが、草の勢いに歯が立たず、あとは人海戦術に頼るしかない状況です。そこで、万田小応援団にお願いし、**8月30日の土曜日、朝7時から奉仕作業を企画していただきました。**保護者の皆様、お忙しいかと思いますが、お子さんと一緒に草取りに参加いただくと助かります。

なお、刈り払い機をお持ちの方は、6時からの作業に参加いただきますと助かります。

学校にも刈り払い機が4台あります。協力できる方はお願いします。

子ども祭り

7月27日（日）に万田中央地区で「子ども祭り」がありました。高学年の子供たちが運営に携わり、子供から大人まで楽しめるお祭りになっていました。



私も懐かしい駄菓子を買って帰りました。大人から子供へとか、高学年から低学年へという文化の伝承が危ぶまれている昨今、こんな地域行事が大事ななあと思いました。

学校評価へのご協力ありがとうございました

夏休み前に実施しました学校評価は、大変お世話になりました。結果の詳細につきましては、学校運営協議会で検討した後に、改めて配布します。今回は、速報版としてお知らせいたします。

【比較的評価が高かった項目】

- ・お子さんは、いじめを許さないなどの人権意識が育っていると思いますか。（3.4 昨年度は3.4）
- ・お子さんは、楽しく学校に通うことができますか。（3.5 昨年度は3.6）

【比較的評価が低かった項目】

- ・お子さんは、メディア時間をコントロールする力が身に付いていると思いますか。（2.3 昨年度は2.3）
- ・お子さんは、地域とのつながりを通して、地域への愛着が身に付いていると思いますか。（2.9 昨年度は2.8）

今後も、保護者の皆様、地域の皆様とともに、充実した教育活動を行って参ります。ご協力、よろしくお願い致します。